

科目名	財務会計				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2021年度 後期	単位数	2		
担当教員	大橋 良生				
内容および計画	財務会計は社会制度として成立している会計であり、主として企業に資金を提供する人々に対して、企業内部における資金の運用状況とその成果を明らかにすることを目的としている。運用状況とその成果は、財産計算と期間損益計算を通じて、財務諸表で開示される。本講義では、計算体系である複式簿記・会計処理に理論的な根拠を与える会計理論や関連する会計制度を取り上げ、企業の経済活動が認識・測定・記録・報告されるプロセスを解説する。				
1	■ 資金の管理と運用(1) 余剰資金の運用／現金及び預金／有価証券				
2	■ 資金の管理と運用(2) キャッシュ・フロー計算書／デリバティブ				
3	■ 国際活動(1) 企業活動の国際化にともなう会計の問題／輸出入取引の換算／資金の調達と運用取引の換算				
4	■ 国際活動(2) 為替リスクの管理／在外支店と在外子会社				
5	■ 国際活動(3) 会計基準の国際統合 ■ 税金と配当(1) 企業活動と税金				
6	■ 税金と配当(2) 株主総会の開催と会計報告／剰余金の配当／配当制限と債権者保護				
7	■ 税金と配当(3) 剰余金の処分 ■ 財務諸表の作成と公開(1) 財務諸表の体系／財務諸表の公開				
8	■ 財務諸表の作成と公開(2) 損益計算書の内容／包括利益の内容／貸借対照表の内容				
9	■ 財務諸表の作成と公開(3) 株主資本等変動計算書の内容／附属明細表と個別注記表／四半期財務諸表				
10	■ 企業集団の財務報告(1) 連結財務諸表の重要性／企業集団を構成する会社／連結貸借対照表				
11	■ 企業集団の財務報告(2) 連結損益計算書／持分法による投資利益				
12	■ 企業集団の財務報告(3) 連結包括利益計算書／連結株主資本等変動計算書／セグメント情報／会社の合併				
13	■ 財務諸表による経営分析(1) 分析の視点／分析の方法と注意事項／収益性の分析				
14	■ 財務諸表による経営分析(2) 収益性の分析／安全性の分析				
15	■ 財務諸表による経営分析(3) 安全性の分析				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	財務会計・入門〔第14版〕	桜井久勝・須田一幸	有斐閣アルマ	9784641221765	2021

参考書	上記書籍の最新版を用いる。			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	課題・小テスト			40
	定期試験			60
学習到達目標	財務会計の基本的な理論を理解し、企業活動と財務諸表との関連性の理解を深める。また、基本的な財務諸表による経営分析を行えるようになる。			
先修条件	特になし。ただし、財務会計基礎を履修済みであることが望ましい。			
実務経験				
その他	「財務会計基礎」と「財務会計」は、主に一連の企業活動と財務諸表との関連性を学習範囲としているため、両科目をセット履修することを勧める。なお、授業では、電卓を携帯すること（携帯電話を除く）。			